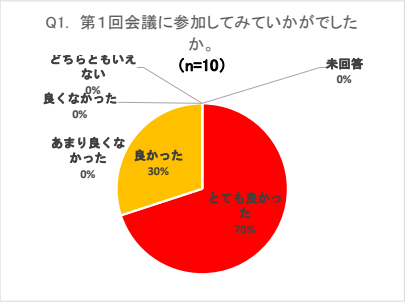
第1回琴浦自分ごと化会議　アンケート結果

出席者数	10
回収枚数	10
回収率	1

Q1	第1回会議に参加してみていかがでしたか。	回答数	割合
1	とても良かった	7	0.7
2	良かった	3	0.3
3	あまり良くなかった	0	0
4	良くなかった	0	0
5	どちらともいえない	0	0
6	未回答	0	0
	合計	10	



No.	Q2　今回の会議に参加して、感想などをご記入ください。	Q3　次回以降に向けて取り組みたいことや要望など、ご自由に記入してください。
1	新しい方々を招いて、さらにいろんな視点からごみ問題を見れたしみなさんが各自で行動されていて、もっと頑張らなければと思う。	自分の家からどれだけ生ごみが出ているかを調べたい。
2	会議に参加している人たちはごみ減量に意識・関心があるということがよく分かりました。この高いレベルの意識を全ての琴浦町民・全ての国民が持てば、ごみはめちゃくちゃ減るだろうな。と思います。	防災無線でごみ減量を呼びかけるときのネタを考えてきます！TCCでどんな番組を作成してもらうかも…。（町内の小・中学生に出演してもらう？やっぱり町長さん？）
3	進化している会議でした。	（生ごみ処理機）研究開発費として、少し予算をつけていただきたい。
4	大学生がとてもしっかりとした意見を持っていてびっくりしたし、将来が明るいと思った。新しい方が参加したことで、新しい意見が出て良かった。	生ごみ・庭の剪定で出た木のごみなど、自然にかえるものをごみに出さなくても、たい肥にするという考えは良いと思った。
5	・町長が初めて生ごみについて語られた。⇒他の町の取組みについて調査する。 ・メンバーの半分が欠席⇒欠席者の一言を、第２回で発表または聞取りし一覧表にする。 ・今回からのメンバーの方が同じ目線からスタートしていただき安心した。⇒新メンバーさんの意見が新鮮で入ってもらえてよかった。 （別件）軟質プラスチック回収が始まった経過と他の市町村が取り組まない理由が知りたい。	後日メールで送ります。 以下、メール内容 （我が家のごみデータ） 期日8/12~9/2 可燃　大 軟プラ その他 （防災無線での取組み内容） １．アナウンサー「ことうら環境アクションチームからの提案です。」 ２．子どもたちの楽しそうなテーマ曲（一番の前半）が流れる。 ３．チームの企画内容をアナウンス ４．２の後半 （軟プラの提案） ことうらバスを「貸客混載」として運ぶ。 （今後の取組み内容） （チーム）チーム内で実験 （費用なし）乾燥方法の立案⇒複数提案⇒順位をつけない ※例※秦野さんの「天日乾燥方法」 （費用あり）費用の概算出し⇒乾燥方法の立案⇒複数提案⇒順位をつけない ※例※秦野さんの「洗濯機の脱水機方法」（家に余った洗濯機はありませんか。）。秦野さんの友人をチームに呼ぶ。（日当なし） （段ボール・コンポスト）町内の段ボールメーカーさんにチームに入っていただき、試作品で処理を開始。 （提案方法・内容の検討） ・防災無線編 ・保育園、小学校、中学校編 ・TCC編（この取組みをTCCが記録映像として残していきたいと思ってもらえるような雰囲気のある構成。） ・町内独立組織編 ・部落編 ・会社編
6	皆さんの思いがあって面白かったです。何でもいいのでスタートさせたいですね。	
7	ごみに対する各自の思いの熱さにビックリ。改めて自分ごととして考えることの大切さを知りました。	とりあえず宿題をクリアーできれば・・・
8	みなさんの意識が高く具体的に活動されていてすごいな。と思いました。私としては生ごみ処理機の予算の話とか具体的な使用感とかお伺いできて有意義な時間でした。	とりあえずプラスチックごみと出来れば生ごみの重さを量ってこようと思います。
9	会議に参加している町民の方々の問題に対する意識レベルが非常に高いと感じた。また、琴浦町で既に実践段階に移りつつある軟質プラスチックの分別や、生ごみ処理に関して知らない事も何点かあったので、現段階での状況を詳しく学んで次回に参加しようと思います。	琴浦町の方々がごみに対する現状をどのように考えているのか知るための質問を考えてみたい。そして意識レベルに合わせて、まずはこれだけを取り組んでみてほしい内容を考えたいが、どれくらいの取組みだと負担に感じてしまうのかに関しても知りたいと思った。
10	参加者の皆さんから積極的かつ具体的に意見が出ていて良いと思った。この会議の結果を成果に変えることが大切だと思った。	自分の家でどのくらい生ごみが出ているのか調べる。 具体的な広報の取組みの提案。